

徳島市農業委員会総会 議事録

1 と き	令和7年10月30日（木） 開会 午後 3時30分 閉会 午後 4時45分
2 ところ	徳島市役所 13階 大会議室
3 議 長	会長職務代理者 金澤 敬治
4 出席者	<p><農業委員></p> <p>2番委員 瀬畑 俊夫 3番委員 佐野 泰弘 4番委員 野口 俊廣 5番委員 大貝 美治 6番委員 金澤 敬治 7番委員 宮崎 学 8番委員 久米 裕純 10番委員 佐々木永薫 11番委員 板東美佐緒 12番委員 坂東 賢二 13番委員 石田 幸夫 14番委員 植田美恵子 15番委員 廣瀬 長市 16番委員 谷川 興一 17番委員 鎌田 良仁 18番委員 政岡 茂 19番委員 市岡 沙織</p> <p><農地利用最適化推進委員></p> <p>3番委員 宮本 忠佳 5番委員 長谷川豊司 8番委員 原田 和彦 10番委員 奥田 雅之 11番委員 松浦 義幸 17番委員 近藤 和隆</p>
5 欠席者	<p><農業委員></p> <p>1番委員 岸本 昇 9番委員 川人 泰博</p> <p><農地利用最適化推進委員></p> <p>4番委員 山本 美香 14番委員 鈴木 隆大 15番委員 廣瀬 佳輝</p>
6 欠 員	なし
7 傍聴者	なし
8 議 事	<p>付議案件</p> <p>（全体議案）</p> <p>第1号議案 地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の変更に係る 意見決定について</p> <p>（農地関係議案）</p> <p>第2号議案 農地法第3条の規定による許可申請の審議について 第3号議案 農地法第4条の規定による許可申請の審議について 第4号議案 農地法第5条の規定による許可申請の審議について 第5号議案 非農地証明願の審議について 第6号議案 相続税の納税猶予に関する適格者証明願の審議について 第7号議案 農用地利用集積等促進計画（一括方式）の案について</p> <p>報告事項</p> <p>（農地関係）</p> <p>1. 農地法第3条の3規定に基づく権利取得の届出について 2. 農地法第4条第1項第7号の規定による農地転用の届出について 3. 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用の届出について 4. 農地法第18条第6項の処理について 5. 転用許可の取消について（4条許可）</p>

(開会 午後3時30分)

事務局 それでは、定例総会を始めさせていただきます。本日の議長は川人会長が欠席のため、会長職務代理者の金澤委員が務めることとなりましたので、進行をよろしくお願いいたします。

議長 ただ今から、令和7年10月徳島市農業委員会総会を開会いたします。本日の総会は、農業委員19名のうち半数を超える17名が出席しており、会議が成立しております。欠席の届出がありました委員は、議席番号1番岸本昇委員、議席番号9番川人泰博委員です。はじめに、議事録署名者の選任についてですが、総会議事規則第10条の規定により、議長が指名します。議席番号12番坂東賢二委員と、議席番号3番佐野泰弘委員の両名を指名します。よろしくお願いいたします。

それでは、これより各議案の審議に入りますが、議案各号ごとに採決しますので、よろしくお願いいたします。

第1号議案、地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の変更に係る意見決定について、審議を開始します。事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 それでは、第1号議案 地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の変更に係る意見決定について説明いたします。

先に送付しております右肩に第1号議案と書いてある資料を御覧ください。第1号議案につきまして、地域計画の変更案について、市長から意見聴取があったため、農業委員会の意見を決定していただくものです。なお、今回の変更は、地域計画からの除外で、令和7年6月、8月分であり、市ホームページ及び書面による協議の場において了承されたものでございます。

変更の概要は次のページの地域計画に係る変更一覧（令和7年6月、8月分）のとおりで、勝占・一宮下町・応神・川内・国府・南井上地区について地域計画からの除外の協議が整ったことに伴う変更でございます。この協議結果に基づく農地面積の減少等を反映した地域計画の変更案が提出されております。なお、太陽光発電施設の上八万地区3件、一宮下町地区1件については、申請取り下げ予定とのことで、今回の意見聴取の対象とはなっていません。

今後のスケジュールですが、11月に市長へ地域計画変更に係る意見を回答し、その後、農林水産課による地域計画変更案の縦覧期間2週間を経て、11月下旬に地域計画変更公告となります。

今回の変更案については、地区の農業委員さん、推進委員さんに対し郵送による意見聴取がなされており、地域計画からの除外について了承されておりますので、農業委員会全体の意見として変更案の通り認めることが適当と思われます。説明は以上です。

議長 ただ今の説明につきまして、御意見・御質問等はありませんか。

鎌田委員 13・14番案件の蓄電池施設について、農林水産課に対し、協議の場に対する意見書を提出いたしました。

南井上地区では、令和7年5月と9月に蓄電池施設の農地転用許可が2件あり、5月許可分は、もう少しで竣工というところまできています。

こうした中、許可済みの2件と今回申請の2件も半径50mの地域に集中しており、このことについては、いろいろと考えさせられるところはあります。

地区の委員としては、あまり普及していない施設なので、施設が完成し稼働がはじ

まり、一定期間、地域や農業にどのような影響があるか様子を見てから、除外の判断をするのかいいのではないかと考えております。

しかしながら、転用の要件を満たすのであれば、地域計画からの除外についてはやむをえないと考えております。

農業委員会として、市長への回答に意見を付けていただく必要はありませんが、地区の委員としての考えを、他の委員さんにも知っていただきたいということで、この場で報告しております。地域計画変更についての意見は以上です。

議長 他の委員の皆様、他に御意見・御質問等はございませんか。

それでは、御意見がないようですので、採決いたします。第1号議案の地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）の変更に係る意見決定について、案に異議なしとして、承認することに異議ございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということですので、第1号議案は、案に異議なしとして承認することといたします。

続いて第2号議案、農地法第3条の規定による許可申請の審議を開始します。事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 それでは第2号議案、農地法第3条の規定による許可申請について御説明します。議案書1ページを御覧ください。全ての申請について法定の添付書類は整っております。農地法第3条第2項各号の不許可要件に該当しているものは見受けられないと思われま。耕作労力・農機具の保有状況等の問題は見受けられず、また、周辺への支障・影響を生ずる要因は特に見受けられません。なお、許可の適否にあたり、不許可の例外規定に該当するものや、特に注意すべき事項のある案件については、個別に説明をさせていただきます。

1番は、譲渡人から譲受人へ、農地10筆を売買により所有権を移転するものです。譲受人の耕作面積は許可後137aに至り、譲受人は対象地において、ブロッコリーやソルゴーの栽培を行うとのことです。なお、譲受人は新規就農者であるため、勝占地区で新規就農面談を行いました。

2番は、譲渡人から譲受人へ、農地1筆を売買により所有権を移転するものです。譲受人の耕作面積は許可後80aに至り、譲受人は対象地において、水稻の栽培を行うとのことです。

3番と4番は、譲渡人から譲受人へ、農地の相互交換で、それぞれ農地1筆の所有権を移転するものです。3番の譲受人の耕作面積は許可後121aに至り、譲受人は対象地において、水稻やトマトの栽培を行うとのことです。4番の譲受人の耕作面積は許可後60aに至り、譲受人は対象地において、水稻やホウレンソウ等の栽培を行うとのことです。

5番は、譲渡人から譲受人へ、農地1筆を売買により所有権を移転するものです。譲受人の耕作面積は許可後102aに至り、譲受人は対象地において、人参の栽培を行うとのことです。

6番は、譲渡人から譲受人へ、農地2筆を売買により所有権を移転するものです。譲受人の耕作面積は許可後97aに至り、譲受人は対象地において、人参の栽培を行うとのことです。

7番は、譲渡人から譲受人へ、農地1筆を売買により所有権を移転するものです。

譲受人の耕作面積は許可後99aに至り、譲受人は対象地において、人参の栽培を行うとのことです。

8番は、譲渡人から譲受人へ、農地1筆を売買により所有権を移転するものです。譲受人の耕作面積は、許可後3aに至り、譲受人は対象地において枝豆やほうれん草の栽培を行うとのことです。なお、譲受人は、新規就農者となりますが、対象地の面積が3aと小さいことから、地区委員さんの了承を得たうえで、新規就農者面談を実施しないこととしました。

9番は、譲渡人から譲受人へ、農地1筆を売買により所有権を移転するものです。譲受人の耕作面積は、許可後3aに至り、譲受人は対象地においてなすやきゅうりの栽培を行うとのことです。なお、譲受人は、新規就農者となりますが、対象地の面積が3aと小さいことから、地区委員さんの了承を得たうえで、新規就農者面談を実施しないこととしました。

10番と11番の借人は、農地所有適格法人以外の法人であるため、例外的な取扱いとなっております。許可要件は、①農地を適正に利用していない場合に賃貸借等の解除をする旨の条件が書面による契約において付されていること。②地域の農業における他の農業者との適切な役割分担の下に継続的かつ安定的に農業経営を行うと見込まれること。③法人の場合、業務執行役員又は農林水産省令で定める使用人のうち、一人以上の者が耕作等の事業に常時従事すると認められること。となっており、この要件を満たしていることを確認しております。

10番は、貸人から借人へ、農地10筆に使用貸借権を設定し、11番は貸人から借人へ、農地1筆に使用貸借権を設定するものです。契約期間は許可日から3年間です。10番の借受人の耕作面積は、許可後140aに至り、借受人は対象地において、カリフラワーや自然薯の栽培を行うとのことです。11番の借受人の耕作面積は、許可後11aに至り、借受人は対象地において、カリフラワーの栽培を行うとのことです。なお、譲受人は新規就農者であるため、南井上地区で新規就農面談を行いました。

12番から17番は、同一の内容のため、併せて説明させていただきます。貸人と借人との間で、営農型太陽光発電設備のために、12番が農地2筆、13番が農地2筆、14番が農地4筆、15番が農地1筆、16番が農地1筆、17番が農地1筆に区分地上権を設定しようとするものです。設定期間は許可日から3年間です。

なお、12番から17番は同時に5条許可申請が出ております。5条許可が許可されない場合は、3条許可も行うことができません。許可日も5条許可と同日になります。また、営農型太陽光発電設備については、次の第4号議案の1番から6番の5条許可の方で詳しく御説明させていただきます。

第2号議案は以上17件で、対象地は、田42,378㎡、畑5,977㎡、合計48,355㎡です。以上で説明を終わります。御審議をよろしくお願いいたします。

議長 事務局の説明は以上ですが、新規就農面談を行ったということですので、まず、実際に審査にあたった委員さんより、御意見をいただきたいと思います。

それでは、1番案件の新規就農面談に参加していただいた、勝占地区の佐野委員さん、新規就農計画の内容等について、御心証などはいかがでしたでしょうか。

佐野委員 今月14日の14時より、1番案件で新規就農面談を実施いたしましたので報告します。参加者は、野口委員、宮本推進委員と私の委員3名、譲受人側1名、事務局2名の6名です。

譲受人は、譲渡人が高齢で農業をやめるという話を聞き、休耕地になるのであれば、知人と一緒に農業をしてみたいと思い、今回の申請に至ったとのことです。譲受人は、

ブロッコリー農家の知人に指導を受けるとのこと、営農に問題はないと思われます。今回の申請が許可されれば、対象地で、ブロッコリーやソルゴーの栽培から始めて行きたいとのことです。

結論として、今回の新規就農計画等に問題はなく、勝占地区の委員は一致して、問題ないのではないかと心の証を持ちました。報告は以上です。よろしくお願いします。

議長 ありがとうございました。続きまして10番、11番案件の新規就農面談に参加していただいた、南井上地区の鎌田委員さん、新規就農計画の内容等について、御心証などはいかがでしたでしょうか。

鎌田委員 今月15日の14時より、10番から11番案件で新規就農面談を実施いたしましたので報告します。参加者は、私の委員1名、譲受人側1名、事務局2名の4名です。借受人は、平成25年から営農型太陽光発電事業を行っており、耕作については今までは個人で行っていましたが、繁忙期に人が足りないため、法人で行いたいと思い、今回の申請に至ったとのことです。借受人は、カリフラワーはJAに指導を受け、自然薯は大学の教授に指導を受けながら常時従事者を雇うとのことで、営農に問題はないと思われます。今回の申請が許可されれば、対象地で、カリフラワーや自然薯の栽培をしていきたいとのことです。

結論として、今回の新規就農計画等に問題はなく、南井上地区の委員は一致して、問題ないのではないかと心の証を持ちました。報告は以上です。よろしくお願いします。

議長 ありがとうございました。新規就農面談に参加されました委員さんからの意見は以上ですが、その他、全案件につきまして、申請地区の委員さん、他の委員の皆様、御意見、御質問はありませんか。

それでは、特に御意見がないようですので、採決いたします。2号議案の農地法第3条の規定による許可申請について、1番から11番案件を許可し、12番から17番案件は、5条許可の審議の結果に合わせることに異議はございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということです。第2号議案は、1番から11番案件を許可し、12番から17番案件は第4号議案の5条許可の審議の結果に合わせることに決定いたしました。

続きまして、第3号議案、農地法第4条の規定による許可申請の審議を開始します。それでは事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 まず地域計画との関係ですが、今月の4条及び5条の許可申請は、地域計画に支障がないことを確認済みです。それでは第3号議案、農地法第4条の規定による許可申請の審議について御説明します。議案書5ページを御覧ください。

1番の申請地は、公共投資の対象となっていない第2種農地に該当します。申請人は、所有する農地を農家住宅に転用するものです。

以上、本案件につきましては、農地法に規定されている立地基準及び一般基準において、許可要件を満たしているものと思われます。

第3号議案は、全1件で地目は、畑のみ330㎡です。転用目的は、住宅用地となります。以上で説明を終わります。御審議をよろしくお願いします。

議長 事務局の説明は以上ですが、本案件につきまして、申請地区の委員さん、他の委員の皆様、御意見、御質問はありませんか。

それでは、特に御意見がないようですので、採決いたします。第3号議案の農地法第4条の規定による許可申請について、本案件を許可することに異議はございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということですので、第3号議案は、本案件を許可することに決定いたしました。

続きまして、第4号議案、農地法第5条の規定による許可申請の審議を開始します。それでは事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 それでは第4号議案、農地法第5条の規定による許可申請について、御説明します。議案書6ページを御覧ください。1番から6番案件は、先ほどの第2号議案の12番から17番案件と関連するもので、すべて営農型太陽光発電施設に転用するものです。営農型太陽光発電とは、農地に支柱を立てて、営農を継続しながら上部空間に太陽光発電を設置し、農業と発電事業を同時に行うものです。太陽光の支柱部分は転用許可が必要であり、1番で言えば11.62㎡となり、空中の占用部分については農地法3条で区分地上権の設定が必要です。

個別の説明に移ります。1番から6番は借人が同一であるため併せて説明します。申請地は、集団農地かつ高性能農業機械による営農に適した甲種農地に該当しますが、不許可の例外規定である一時的な利用に該当し、また、農地を分断するおそれはありません。使用貸借権を設定し、太陽光発電事業を営んでいる借人が営農型太陽光発電施設に一時転用するものです。借人は、平成25年から申請地で営農型太陽光発電施設を設置しており、3回目の更新の申請となります。

営農する農作物は、1番がカリフラワー及び自然薯、2番から6番がカリフラワーです。カリフラワーは、地域で多く栽培されており、JAから指導を受けながら営農型太陽光発電施設の下で栽培を行っている実績があります。自然薯は、地熱が25度以上になると生育障害を起こすと言われており、パネル下部では日照量が適度に軽減され、栽培に適しているそうで、大学の教授に指導を受けています。農作業は、これまでは個人で行っていましたが、今後は個人が代表取締役を務める法人で営農を行う予定で、常時雇用している5人の労働力も確保しているとのこと。農業機械もトラクターや定植機等を所有しています。昨年の栽培実績としては、カリフラワーは平均単収の80%を確保しており、自然薯も平均単収の80%を確保していますが、連作障害を防ぐために、令和7年から大部分をカリフラワーに変更し、一部で自然薯とカリフラワーの輪作をするとのこと。

また、前回の更新時、4番の農作物はウレイとなっていました。近年の消費動向や気候変動の影響で平均単収の30%程度だったため、カリフラワーへ変更しています。以上のように改善を行い、また下部の農地で営農の適切な継続が見込まれる旨の意見書の提出もあります。

以上、全案件につきましては、農地法に規定されている立地基準及び一般基準において、許可要件を満たしているものと思われます。農地区分が甲種農地である1番から6番案件については地区審査を実施しました。

第4号議案は、全6件で、地目は、田が42.46㎡、畑が4.99㎡で合計が

47.45㎡です。転用目的の内訳は、その他施設用地となります。以上で説明を終わります。御審議をよろしくお願いいたします。

議長 事務局からの説明は以上ですが、地区審査を行ったということですので、まず、実際に審査にあたった委員さんより、御意見をいただきたいと思います。

それでは、1番から6番案件の地区審査に参加していただいた、南井上地区の鎌田委員さん、転用計画の内容等について、御心証などはいかがでしたでしょうか。

鎌田委員 今月15日の14時より、1番～6番案件で地区審査を実施しましたので報告します。参加者は私と事務局2名と転用者側1名の合計4名です。申請地は、国府町東高輪と国府町花園にあり、甲種農地に区分されるとのことです。申請人は、平成25年から営農型太陽光発電施設を設置し、下部の農地でカリフラワー、自然薯を栽培しています。昨年の収量は平均単収の80%を超えており、品質も問題ないとのことでした。また、昨年まで一部でウルイを栽培していましたが、近年の消費動向や気候変動の影響により、収量が平均単収の30%程度と低調であったため、今年からカリフラワーに変更しています。農協に出荷及びすきとく市で販売しており、販売精算書も提出されています。今後は収穫の回数を増やし、さらに収量の増加も見込めるとのことです。

結論として今回の転用許可申請については、下部の農地で適切な営農の継続が見込まれるため、南井上地区の委員は一致して問題ないと判断しました。報告は以上です。よろしくお願いいたします。

議長 ありがとうございました。地区審査に参加された委員さんからの意見は以上ですが、その他、全案件について申請地区の委員さん、他の委員の皆様、御意見・御質問はありませんか。

それでは、特に御意見がないようですので、採決いたします。第4号議案の農地法第5条の規定による許可申請について、全案件を許可相当として県に諮問することに異議はございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということですので、第4号議案は、全案件を許可相当として県に諮問することに決定いたしました。なお、第2号議案、3条許可の12番から17番案件は、5条許可の結果に合わせることに決定しておりますので、県からの諮問の結果に合わせて許可の決定をすることになります。

続きまして、第5号議案、非農地証明願の審議を開始します。それでは事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 それでは第5号議案、非農地証明願について御説明いたします。議案書8ページを御覧ください。

1番の申請地は、公共投資の対象となっていない第2種農地に区分されます。申請地は昭和14年頃から埋め立てられており、昭和46年頃から倉庫として利用されているとのことでした。1番は、農地として機能していない状態が継続しており、非農地化の確認資料としましては、昭和47年10月24日撮影の航空写真があり、また、現地が非農地化していることを現地調査でも確認しております。

第5号議案は1件で、対象地は、田のみ1,001㎡です。以上で説明を終わります。

御審議をよろしくお願いいたします。

議長 事務局の説明は以上ですが、本案件につきまして、申請地区の委員さん、他の委員の皆様、御意見、御質問はありませんか。

それでは、御発言がないようですので、採決いたします。第5号議案の非農地証明願について、本案件を非農地と承認することに異議はございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということですので、第5号議案は、本案件を非農地と承認することに決定いたしました。

続きまして、第6号議案、相続税の納税猶予に関する適格者証明願の審議を開始します。それでは事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 それでは第6号議案、相続税の納税猶予に関する適格者証明願について、御説明させていただきます。議案書9ページを御覧ください。今月の申請は1件です。対象地及び相続関係を示す資料等の添付書類は整っています。

1番の対象地は4筆、5,274㎡で、全ての農地で、継続して耕作状態にあります。第6号議案は以上1件で、対象地は畑5,274㎡となっています。御審議をよろしくお願いいたします。

議長 事務局の説明は以上ですが、本案件につきまして、申請地区の委員さん、他の委員の皆様、御意見、御質問はありませんか。

それでは、御発言がないようですので、採決いたします。第6号議案の相続税の納税猶予に関する適格者証明願について、本案件を承認することに異議はございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということですので、第6号議案は、本案件を承認することに決定いたしました。

続きまして、第7号議案、農用地利用集積等促進計画（一括方式）の案について審議を開始します。なお、本号の審議に先立ち、委員が関係者となる案件が含まれております。農業委員会法第31条に定める、議事参与の制限の規定に基づき、大貝美治委員、板東美佐緒委員に御退席をお願いいたします。審議終了後に、入室・着席をしていただきます。それでは事務局より、議案の説明をお願いします。

事務局 それでは、第7号議案、農用地利用集積等促進計画（一括方式）の案について御説明します。議案書10ページを御覧ください。全ての申請について、農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第5項第2号及び第3号に定める、権利設定等を受けるものについての要件等は全て満たしていると思われます。

今月は、賃貸借権が20件、使用貸借権が9件の合計29件となっており、設定しようとする土地での地区別の内訳は、1番から5番が、多家良地区8筆・5件、6番から9番が、勝占地区6筆・4件、10番が、八万地区1筆・1件、11番から13番が、入田地区13筆・3件、14番から17番が、不動地区6筆・4件、18番から20番が、応神地区5筆・3件、21番から23番が、川内地区11筆・3件、2

4番が、国府地区1筆・1件、25番と26番が、南井上地区2筆・2件、27番から29番が、北井上地区6筆・3件 となっております。

権利設定については以上で、田22筆25,544㎡、畑37筆52,348㎡の合計59筆77,892㎡となります。

第7号議案の農用地利用集積等促進計画（一括方式）の案についての説明は以上です。御審議をよろしくお願いいたします。

議長 事務局の説明は以上ですが、全案件につきまして、申請地区の委員さん、他の委員の皆様、御意見、御質問はありませんか。

それでは、御発言がないようですので、採決いたします。第7号議案、農用地利用集積等促進計画（一括方式）の案について、全案件を承認することに異議はございませんか。

全委員 異議なし

議長 異議がないということですので、第7号議案は全案件を承認することに決定いたしました。参与制限により、退席されている委員が着席するまでお待ちください。続きまして、農地関係の報告事項に移ります。事務局の説明をお願いします。

事務局 それでは報告事項について説明します。
議案書15ページを御覧ください。1番は、農地法第3条の3の規定に基づく権利取得の届出についてです。相続による権利取得3件受理しました。
議案書16ページを御覧ください。2番は、農地法第4条第1項第7号の規定による市街化区域内の農地転用の届出についてです。6件受理しました。
議案書17ページと18ページを御覧ください。3番は、農地法第5条第1項第6号の規定による市街化区域内の農地転用の届出についてです。7件受理しました。
議案書19ページを御覧ください。4番は、農地法第18条第6項（合意解約）の処理についてです。4件受理しました。
議案書20ページを御覧ください。5番は、農地法第4条許可の取消についてです。1件取消しました。今月の報告事項の説明については以上です。

議長 報告は以上ですが、何か御質問、御意見等はございませんか。
ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和7年10月徳島市農業委員会総会を閉会いたします。次回は11月26日水曜日の開催予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。